

### 未来に備えたエリシャ (II列王 6:1-2)

7人のレムナントを通して、いまを生きる私たちに与えられる契約のメッセージを探っています。その中で、いまエリシャを続けて見っていますが、エリシャは、福音の価値がわかって、文句なしに福音に従う決断をしました。それが勝利の鍵です。そして、霊の世界を分かって霊的なことを優先したので、無戦勝利者となりました。きょうは、エリシャは未来に備えていたことを見ます。それを自分の契約として握りましょう。

きょうの聖書箇所に出て来る「預言者のともがら」というのは、預言者の候補者のことで、いまで言うなら、牧師の候補者です。聖徒とも言われています。そのような人々をドタンの町で育ててケアをしていたのでした。つまり、ドタンの町で、神学校を作り、神学生を育て、未来に備えていたのです。その時代の状況を考えると、イゼベル王妃が預言者をすべて殺そうとしていた時代です。そのような時代に、預言者になるうとするのは、ふつうのことではありません。そのようなときに、システムを作り、神学生を育てることに挑戦していました。それは、未来を見ていたからです。なぜ、エリシャはそうにできたのかを見て、私たちも契約として握りましょう。

エリシャは、**神様の契約は絶対に成就すると信じていたので、未来を備えたのでした。**それは、**神様の主権を認める**ことです。神様が約束されたこと、神様がなさろうとすることは、必ずそのとおりになります。この神様の主権は、聖書や歴史、また、私たちひとりひとりから証拠を見ることができます。私たちは、神様なしの人間中心の思想、因果応報の考えが染まってしまっています。なにかをするから、こうなるのだ。しないから、ならないのだという、そのようなルールを超えて、人間の原因はまったくなく、神様は神様の主権で救おうとされた人を救われます。世の中の考えや理性では絶対に理解できないことです。神様がおられ、その神様が約束されたことは、なにがなんでも絶対にそうなります。それを信じるかどうかということです。

その最高の証拠が、イエス・キリストの十字架です。救いのわざを成しとげられるメシヤ(キリスト)を消してしまおうと、サタンはキリストを十字架につけました。しかし、それは、サタンの勝利ではなく、これこそ、サタンのしわざを打ちこわす最高のみわざになりました。サタンの邪魔さえも利用して、神様がなさろうとすることは、まっとうされます。この神様の主権を知るなら、見る目が変わります。失望して落胆することはありません。神様がなさることは止められないからです。良い働きをはじめられた方は、キリスト・イエスの日までそれを完成していただきます。私の弱さ、不信仰、ミスがあっても、神様のなさることを邪魔することはできないのです。神様の契約は絶対になされると信じ、

いまの現実の前で、絶望やあきらめではなく、未来に備えることができるのです。旧約の歴史を見ても、キリストが来られるとは思えない方向にしか進みませんでした。しかし、キリストは来られました。これが、神様の契約、神様の主権です。

どんなに暗やみの文化が強く、国のトップまで、偶像に仕え、すべてが偶像崇拝をしていて、キリスト教人口はとても少なく、マイノリティのクリスチャンの国日本で、クリスチャン自身も、個人的に苦難や苦しみに会って、失望、あきらめ、つぶやいてしまいそうになっているとしても、契約は成就するので、未来に備えることはできるのです。そして、今日の現実の中で、**今日を最高の日として生きていくことができます。なぜなら、契約の旅だから**です。まわりの評価はどうであっても、契約が成就していく旅程です。未来に備える人は、今日に絶望することなく、最高の日として生きていきます。それが霊的サミットです。状況、環境に左右されない頂上に立つことです。

**キリストの契約**の中にいるとは、どういうことでしょうか。キリストは人生の問題の根本にあることをすべて解決していただきました。人は神様を離れ、いのちがなく、悪魔の子どもの身分で、地獄の運命に捕らわれています。それゆえ、人生を苦しんで生きるしかないのです。この根本的なことは、



他のことでは触れません。これを解決できるのは、悪魔の頭を踏み砕くまことの王、罪をきよめることができるまことの祭司、神様とともにいる道になるまことの預言者、キリストだけです。キリストによって、神の子どもとなり、地獄の運命、悪魔のしわざから解放され、悪霊に打ち勝つ権威を受けることができます。キリストが来られないと希望はないのです。そのキリストがイエス様です。イエス様がキリストとして来られ、完了してくださったので、イエスを信じる者は、永遠のいのちを持ち、天国の背景に変えられ、エルサレムから地の果てにまで証人となります。福音宣教に用いられ、暗やみがくだかれ、神の国が臨むのです。それが、いま、私に与えられている契約です。世界福音化は、必ず成就する旅程です。

きょうの現実にだまされず、今日を最高の日として、サミットとして生きましょう。そのためには、**人生のポイントを弟子と次世代に置きましょ**う。富や成功を目標にする誘惑がありますが、その

誘惑を振り切り、未来に備えて弟子を育て、次世代を育てましょ。契約は成就することを次に続けていくべきです。このように未来に備える人は、希望にあふれ、肯定的な人となります。つらいことは、失望することではないのです。生きることは土台を作ることだという土台の思想を持ち、システムの構築のためだと生きていきます。レムナントミニストリーや、神学生を育てるための献身者となりましょ。契約は絶対に成就するので、今日に執着しません。人生のフォーカスを野望と欲から、次世代と弟子に移して、ポイントを合わせましょ。契約は絶対に成就すると信じる人を育てていくのです。そうすれば、神様は必要なすべてを与えてくださいます。エリシャは未来を備え、成功した勝利者でした。それを自分の契約として握り、未来に備える成功の勝利者となるようにお祈りします。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

#### メッセージカード

##### II列王記 6:1-2 未来に備えたエリシャ

なるほど/福音の人は、契約の絶対成就を信じるので、現実には酔いしれたりあるいは絶望したりせず、むしろ今を契約の旅程と見て、今日を最高の日として生きると同時に、人生のポイントを弟子と次世代において未来に備える真の勝利者となる。ならば/現実への執着も、つぶやきも下ろそう。現実から契約の旅程の祝福を見つけ出そう。野心や欲ではなく、次世代と弟子にフォーカスを合わせ未来に備える人になろう。

#### インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2018年9月16日)

##### 1部礼拝：見張り人運動 (イザ 62:6-12)

理解できないことが起きて、問題が来るほどに神の子どもだという確信を持って、神様が約束した契約を握って契約の中に入るようにしてくださり感謝します。何ごとでも先に祈りの見張り人になって、昼も夜も主が黙らないようにして世の中を生かしますように。みことばを回復してみことばを伝達するみことばの見張り人になって、神様が準備された祝福を回復しますように。すべての民を生かす大路を準備する使命を回復して、237カ国を生かす伝道と宣教の見張り人になりましょように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

##### 2部礼拝：契約の旅程 (イザ 66:17-24)

世界福音化が神様のみこころであることを知って、契約の旅程に従うようにしてくださり感謝します。すべての問題をメッセージとして握って、問題に対する答えの中で神様の計画を見つけて、その中で、私だけができて、私がすべき夢を握って、成就される神様のみことばの力を味わいながら、神様が作られた人生作品を残しますように。ダニエルと三人の友人のように霊的な力を持って世の中を生かし、モルデカイとエステルのように契約のみわざを味わいながら、ハガイ、エズラ、ネヘミヤのように神殿再建の祝福を味わいますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。